

報告事項

平成26年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)に対する文部科学大臣表彰について

平成26年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)に対する文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成26年4月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成26年度子どもの読書活動推進優秀実践校・図書館・団体(個人)に対する
文部科学大臣表彰について

平成26年4月15日
社会教育課

子どもの読書活動を一層推進するため、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において特色ある優れた実践を行っている学校・図書館・団体及び個人に対し、その実践をたたえ、文部科学大臣が表彰するもので、このたび平成26年度の表彰校、団体が決定しました。

1 表彰の趣旨

読書活動の一層の推進に資するため、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める。

2 被表彰校・団体

区分	被表彰者	取組の内容
学校	智頭町立 智頭小学校	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自ら読書に取り組むよう工夫したり、PTAとも連携して、学校、地域が一体となって、本に親しみ、学校図書館に親しむ子どもを育てている。 司書教諭を中心に図書館担当教員等が協力し、「読んでほしい本40冊」「先生のおすすめの本」などの推薦リストを提供して子どもと本との出会いの場を設けている。これにより、貸出冊数の増加(一人平均80冊以上)だけでなく、児童が選ぶ本の質の向上も見られるようになった。
	湯梨浜町立 東郷中学校	<ul style="list-style-type: none"> 全校で読書生活の充実に取り組んでいる。特に、図書委員会50選の本を展示し、生徒自らが本を通して「人」に出会う取組を行うなど、生徒自らが読書活動の推進に関わっている。 絵画集や理科の鉱物などを展示したり、授業後にコーナーを設置して関連図書の読書を促すなど、常に図書館の存在感が感じられる取組を進めている。
	鳥取県立 倉吉養護学校	<ul style="list-style-type: none"> 県内で唯一、知的障がい及び肢体不自由の教育部門を併設している特別支援学校として、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた環境整備など、学校全体で読書活動を推進している。 子どもにとって居心地がよい図書館づくりを進めているほか、図書館だよりや校内掲示板を活用して児童生徒、教職員への情報発信にも積極的に取り組み、学習における図書資料の活用も増えている。
団体	読み聞かせの会 「しゃぼん玉」 (倉吉市)	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年の結成以来、地元を中心に小学校、保育園、社会教育団体とも連携し精力的に活動中 小学校、保育園、児童センター、高齢者福祉施設などの施設、地元でのおはなし会の開催などにより、子どもたちや保護者に、本やおはなしの楽しさ、素晴らしさを伝えている。また、定例会や様々な研修に参加し、メンバーのスキルアップも継続的に取り組んでいる。

3 表彰式

- (1) 日時 平成26年4月23日(水)午後1時から
- (2) 会場 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター